

# 所弓便

## 第23号

NPO 法人所沢市弓道連盟

### ∞ 各部報告 ∞

(平成30年11月以降の主な出来事)

#### 【全般】

##### 所弓連会員数

平成31年3月31末の会員数は226名です。

##### 新会員

平成30年12月～31年4月末までに入会された皆さんです。

船曳 遥 松澤 充宏 小泉 恭子

##### 昇格・昇段

平成30年11月19日以降令和元年5月19日までの昇格・昇段者の皆さんです。

教士 増田裕子

五段 関口研二 安立倫生

四段 杉山博文

三段 今井千鶴

初段 竹村敏彦 松澤充宏 池田大介

山下翔司 ケプ・ソフ・フィリップ・サミュエル

一級 松澤 綾

##### 平成30年度所沢市体育協会賞

3月2日市民体育館サブアリーナにて表彰式が執り行われ、次の方々が受賞されました。おめでとうございます。

##### 所沢市体育協会功労賞

石川淳子

##### 所沢市体育協会優秀選手賞

沖園史華、下田 徹、本橋民夫、熊井紀一

##### 所沢市体育協会優秀団体賞

[飯尾 弘・藤田 良・平山夏子] チーム

[石井叶生・熊井雪乃・田中希実] チーム、

[熊井紀一・平山夏子・下田 徹] チーム

##### 平成31年県連長寿表彰式

4月21日、クレアこうのすにおいて次の方々が表彰を受けられました。

・傘寿： 鈴木光昭、元田郁男、見原重信

##### 総会・理事会・常任委員会・部長会

1月12日：

第3回部長会：(出席15名)

- ・事業経過報告とともに、第2回常任委員会提案事項として以下に関し打合せた。
- ・平成31年度役員案(執行役員については世代交代を図る)
- ・平成31年度事業計画案
- ・体育協会功労賞、優秀選手・団体賞推薦の件
- ・所弓便等の配布方法(全員分封筒詰めせず、受領表に✓を記載して貰い、未受領分だけ封筒宛名印刷する)

1月19日：

平成30年度第3回NPO法人理事会：

理事5名、監事2名全員出席のもと、平成30年度活動経過の報告後、平成31年度以降の役員案、事業計画案等について打ち合わせ・確認を行った。

なお同日、平成30年度第3回常任委員会を併せて開催した。(出席32名)

3月24日：

平成31年度第1回部長会：(出席15名)

4月13日開催の常任委員会、28日の総会に向け、総会資料の最終検討及び確認を行った

**4月 9日：会計監査**

監事2名により、経理部員3名および代表理事出席のもと、市民武道案会議室において会計監査が行われた。

**4月13日：****平成31年度第1回理事会及び常任委員会**

理事3名、監事1名含め、計27名出席のもと、総会審議事項の内容確認及び総会資料の最終検討を行った。

**4月28日****平成31年NPO法人第5回通常総会**

出席者147名（65%）（内、委任状86名）

※ 総会定足数：会員の1/3（76名）

**（ご来賓）**

所沢市議会議長 荻野泰男 様

所沢市議会議員・所沢市弓道連盟顧問

秋田 孝 様

所沢市弓道連盟顧問 並木正芳 様

**（会長挨拶）**

本日は第5回NPO法人所沢市弓道連盟の通常総会にご出席いただき有難うございます。

さて、総会の役割は何かを改めて思い出してください。

総会の議決事項は、

- （1）定款の変更
- （2）解散及び解散した場合の残余財産の帰属
- （3）合併
- （4）事業計画及び活動予算並びにその変更
- （5）事業報告及び活動決算
- （6）役員の選任又は解任、職務及び報酬
- （7）入会金及び会費の額
- （8）会員の除名
- （9）借入金……以下省略

となっています。

各執行部から詳細な報告を頂き、総会プログラムを作成しました。

また、今総会は役員の改選期に当たりますので、NPO法人の理事、監事案を提案いたします。

更に、先の理事会で決定した執行役員を発表いたします。宜しくご審議下さい。

**（議事内容）**

冒頭上記新家会長の挨拶の後、ご来賓の先生方にご挨拶を頂き、議長に選出された草賀相談役の進行のもと、平成30年度活動報告、決算報告、令和元年度役員案、同活動計画案、活動予算案などにつき活発な意見交換がなされ、決議事項はすべて提案通り可決されました。

その他、新道場建設に関連し新家代表理事よりこれまでの状況の説明および、今後の取り組み方等につき話し合われました。また、役員の改選に当り、各部における打合せの実施、各役員連盟活動への受け身でなく積極的協力の要請がなされました。

**… 執行役員会長を交代するにあたり …****新家 透**

初めに、石川淳子会長のご苦勞に思いを致します。きっと会員皆さんの期待に応じて頂くであろう活躍に期待致します。

旧執行部長、副部長をはじめ、会員皆さんに対する感謝の気持ちを述べるにあたり、私が多弁、駄弁を弄するよりも、畏れ多くも、明仁上皇のお言葉をお借りし、会員皆さんへの御礼とさせていただきます。

『……即位から三十年、これまでの天皇としての務めを、国民への深い信頼と敬愛をもって行い得たことは、幸せなことでした。象徴としての私を受け入れ、支えてくれた国民に、心から感謝します。

明日（あす）から始まる新しい令和の時代が、平和で実り多くあることを、皇后と共に心から願ひ、ここに我が国と世界の人々の安寧と幸せを祈ります。』

多謝。（令和元年5月1日記す）

**新会長就任に当って**

石川淳子

会員の皆様へ

4月27日（土）に行われたNPO法人所沢市弓道連盟第5回通常総会において皆様の承認をいただき会長に就任致しました石川淳子です。

10年に渡り会長職を務めていただいた新家先生はじめ、この度執行役員を退任された先生方に深く感謝いたします。

会長に就任し、これからの課題として取り組みたいことは、1.新規会員の獲得、2.新道場建設等弓を引く環境の整備、3.弓道人の育成です。

何をするにもまだ手探り状態ですがNPO法人の理事の先生方、執行役員の先生方と力を合わせてこれらの課題に取り組んで行きたいと思っております。

私は弓を始めて46年経ちました。弓が好きだから続けてこられました。歴代の会長、諸先生方にお世話になり、育てていただきました。

これからは連盟のために自分が恩返しをしていく番だと思っています。会員の皆様と一緒にこれからの連盟の発展に尽力していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

**【総務部】**

12月15日（土）武道館利用調整会議

令和元年度の武道館利用内容が確定

12月16日（日）大掃除

安土目詰まり補修、射場シャッターガラス拭き、留め置き弓具の調査確認

3月25日（月）総会案内状作成（230部）

“ 来賓宛て案内状発送（6通）

**【指導部】****弓道教室**

11月23日～12月22日 アフターフォロー

毎土曜日 13:00～16:30（全4回）

後期教室の入会者に対してアフターフォローを実施

3月25日

「翔びたつひろば（5月発行）」に、令和元年度弓道教室の案内を掲載申請

**寒稽古**

1月5日～1月9日

参加者数 延べ 84名

**定期講習会**

・土曜教室（毎月第2土曜日）

講師：草賀 淳 先生

H30年度参加者 延べ 212名

・水曜研修（毎月第4水曜日）

毎月テーマを決めて相互研修を行う

毎回、18～20名の参加でした。

**【競技部（スポーツ少年団支援部含む）】**

《所弓連主催射会》（12月以降）

所弓連納射会（12月9日）参加者93名

得点制、一人8射、チーム編成は練習時間帯を基本に組み合わせる

**【団体】**

優勝：Aチーム（塩島佳代・足立夕弦・瀬賀邦夫）

2位：A1チーム（安江仁美・山下翔司・新家 透）

3位：Oチーム（三由憲之・松本汰知・竹下 眸）

3位：E5チーム（中村千賀・佐藤 結・中村徳海）

**【個人】 的中制**

優勝 中村徳海、2位 飯尾 弘、3位 下田 徹、

4位 平山夏子、5位 小林孝則



納射会 団体優勝チームの表彰

**歳末百射会** (12月23日)

午前9時30分～午後8時

参加者57名、百射完了者39名

優勝 下田 徹(92中)、2位 中村徳海(74中)、  
3位 飯尾 弘(67中)、4位 田中恵美子(58中)  
5位 小山和枝(57中)、6位 関口二郎(56中)、  
7位 粕谷吉一(56中)、8位 関口研二(55中)  
9位 中村康代(54中)、10位 三好啓子(53中)

**初射会** (1月12日) 参加者94名

- ・ 金的：天位 山川 元、地位 藤田 良、  
人位 小山 等、賞 米澤真樹
- ・ 扇的：天位 野村優花、地位 柚山博文、  
人位 岡井 陸、賞 佐々木優奈、  
中村千賀

**武道祭** (2月3日)演武者15名、会長、放送係、連絡係、手伝3名  
計21名参加

- ・ 一般5人(仲野・ケンプソン・松澤綾・  
池田・船曳)による立射
- ・ スポ少5人(細沼・佐藤・足立・長谷川・上出)  
による坐射
- ・ 一般(高段者)5人(中村康代・澤田・小林・  
飯尾・廣瀬)によるさみだれ行射  
(1～3的は霰的、4～5的は板割り)

10時開会式後、各団体の演武があり、弓道は  
12時45分頃から2F弓道場に於いて20分間の演武終了後、無料体験教室が行われ、大勢の  
子供たちの参加があった。

(演武者にはその他、豚汁の無料配布があった。)

**月例射会⑤** (3月10日) 参加者53名

矢 渡 射 手： 渡邊徳雄

介 添： 安江仁美 田中明子

2段以下：優勝 佐藤 結、

2位 足立夕弦、3位 野村優花

3・4段：優勝 柚山博文、

2位 小山 等、3位 安江仁美

5段以上：優勝 粕谷吉一、

2位 石川淳子、3位 下田 徹

**総会射会** (4月28日) 参加者44名

矢 渡 射 手： 石川淳子

介 添： 松寄恭子 増田裕子

射 候 四矢立射1回

優勝 松寄 昇、2位 下田 徹

3位 石川淳子、4位 田中明子、5位 中村徳海

**令和元年度****月例射会①** (5月11日) 参加者54名

矢 渡 射 手： 増田裕子

介 添： 山本雅子 小島理恵

射 候 四矢立射2回

3段以下：優勝 塩島佳代、2位 石塚正徳、  
3位 松澤充宏4・5段：優勝 安江仁美、2位 柚山博文、  
3位 中村徳海称 号 者：優勝 松寄 昇、2位 三好啓子  
3位 石川淳子

特 別 賞： 奥富季乃

**《対外競技会》****西部支部納射会** (12月2日・所沢) 参加者31名

・ 3段以下：優勝 米澤真樹

・ 4-5段：優勝 中村徳海、3位 瀬賀かほる

・ 称 号 者：優勝 上橋 宏、2位 松寄恭子

・ 総合優勝： 上橋 宏

**西部支部初射会**（1月20日・所沢）参加者40名  
優勝 森下珠美、2位 藤原敬一、3位 田中恵美子、  
4位 中村徳海、7位 上橋 宏、9位 柚山博文、  
10位 新家 透

### 全国勤労者弓道大会埼玉県予選会

（3月3日上尾）所沢6名参加

2位 所沢市役所A

（廣川澄芳・澤田靖子・石川淳子）⇒埼玉県代表

### 西部支部総会射会（3月24日・所沢）24名参加

優勝 関口二郎、4位 石川淳子、7位 藤田 良

### 秩父神社奉納第61回埼玉県下武道(弓道)大会

（4月29日・秩父第一弓道場）

（所沢参加者 一般46名 スポ少21名）

中学生の部 団体 入賞なし

個人 3位 野村優花

一般の部

団体 5位 所沢O（山川元、中村千賀、中根幸二）

個人 入賞者なし

### 第26回入間市近隣親善弓道大会

（5月5日・入間市武道館弓道場）

（所沢参加者 36名）

団体 入賞無し

個人 12位 小山 等

### 第31回埼玉県実年者弓道選手権大会 兼

### 全国健康福祉大会(ねんりんピック)県連予選会

（5月14日・県立武道館）（所沢参加者 5名）

実年者弓道選手権 優勝 下田 徹

ねんりんピック選考結果

埼玉県代表 三好啓子

## 【スポーツ少年団支援部】

### ・団員概況

平成31年4月1日現在 26名在籍

（3月卒団8名）

### ・主な活動

練習：平成30年度計39回練習

（月平均3回程度）

### ・その他：

12月15日 熊野神社 境内清掃

12月22日 スポ少納射会

2月 3日 所沢市民武道館 武道祭  
代表15名による演武

2月17日 所沢市スポ少交流大会  
（マラソン大会）

3月16日 スポ少卒団射会

4月29日 第61回埼玉県下武道大会  
中学生20名参加

### ・表彰：

平成30年度所沢市体育協会賞

優秀選手賞：沖園史華

優秀団体賞：石井叶生、熊井雪乃、田中希実

### ・今後の予定

5月18日～6月22日（毎週土曜日）

令和元年度初心者教室

計6回開催 14名参加

6月23日 令和元年度保護者会総会

7月15日 全日本少年少女武道（弓道）

錬成大会

7月20日 埼玉県民総合スポーツ大会

兼 全国中学生弓道大会 埼玉県予選会

## 【所弓連ホームページ稼働状況】

（平成30年度）

・年間アクセス数： 24,485件

月平均 2,040件：初心者教室開催時、  
武州大会時にアクセスが多い傾向

・更新状況： 年間41件

## ∞ 投 稿 (1) ∞

## 審 査

## 松 嶋 恭 子

教士の審査に向けては、一年間「早く離さない、会を持つこと」だけを心掛けて練習をしていました。練習では会が持てても、大会等で思うような会が持てない、また会を持つ練習の繰り返しでした。

一つに集中しての練習をしていたせいも、審査当日は気負いもなく臨むことができましたと思います。私の場合気の置けない仲間たちと一緒に審査に臨めることもラッキーだと思います。

七段の審査も、まだまだ七段をいただける立場ではないと思っていたので、やはり気負いなく審査に臨めたのです。

教士では二次審査で、七段では一次審査でそれぞれ「あっ、やっちゃた！」という失敗をしてしまいましたが、「まずい」と思う気持ちは表情に出さず、何事もなかったように落ち着いて引く事に集中しました。

まだまだ七段という大きな段位に自分自身が追いつけていない状況ですが、精いっぱい練習をしていきたいと思っていますので、連盟の皆様これからもよろしくお願い致します。

## 教士審査を終えて

## 増 田 裕 子

私は学生の頃弓道を始め、数年で四段まで取得することができ、比較的若いうちに結婚、その時点で弓道は辞めてしまいました。それから約25年後また弓道を再開することができ、現在に至っています。

再会してから16年が過ぎ、その間に五段・錬士・六段、そして今回教士に昇格することが出来ました。弓道を再開できたのも、教士に昇格できたのも、いつも一緒に稽古をし、意見を言い合える仲間と所沢市弓道連盟の皆さんがいてくれたからだこそだと感謝しております。

さて、今まで何回も教士審査を受審してきましたが、今回の審査は何が違って合格出来たのか思い起してみました。

まずは、練習が上手くコントロール出来た事。毎日1本でも弓を引きたいところでしたが、毎日は無理。引けるのは一日おきで限られた時間しか無く、それでも週に一日は矢数をかけることができました。調子を整え、審査の日にうまく合わせる事が出来たと思います。

次に、気持ちのコントロールが上手くいった事。審査の時は他の方の射が気になりいつも拝見していましたが、今回は何故か気にならず観に行きませんでした。自分の射に集中出来ていたのかもしれない。的にも集中できましたし、何よりも楽しく弓が引けました。

教士の審査は自分だけが上手く出来ても二次審査では一緒に組む方に左右されます。今回はその方々に恵まれました。運も良かったと思います。

教士に昇格できたことは、ほんとうに嬉しかったのですが、まだ自分の置かれている立場が見えていない状態だと思います。これからもしっかりと勉強して奥深い弓を探求し、楽しく弓が引けたら最高です。皆さん！ほんとうに有難うございました。

## 日 日 是 弓 日 ～五段昇格に寄せて～

## 廣 瀬 雅 孝

皆様のおかげをもちまして、やっとの思いで五段にたどり着きました。弓歴16年。振り返ればたくさんの思いをこの道で感じ、いつしか（気持ちだけは）日々射即人生と一人感じ入っております。そんな思いを徒然なるまま、思いつくままにこんな形で表してみました。

## 【審査にて】

- ・練習で なぜにわからぬ あの緊張
- ・控えにて 澄ましてみるが 澄みません
- ・審査とは 欲と無欲の せめぎ合い
- ・かぼちゃだと 思えるわけない 審査員
- ・さあ立つぞ やめて失かい 跪坐砕け
- ・引き分けて どれだけ自分を 信じれる

- ・審査ほど なぜにできない 会浅く
- ・退場で 誰も見てない まただめか
- ・数重ね 学科みくびり 不合格
- ・教えてよ 何が悪いの あの一手
- ・やらかした 後の射ほど 評価され
- ・何故出ない わかったはずの あの一手
- ・おめでとう 今度も私は 送り人
- ・何故中る 反省射会 落ちた夜
- ・「次もまた」 見せぬ苦悩は 如何ばかり
- ・素直さの 大事がわかる 合格で

### 【道場にて】

- ・練習は 己を信じる 糧のため
- ・見てみたい 幽体離脱で 自分の射
- ・教わって できたはずだが 何故できぬ
- ・もう引かぬ 3日持たずに 的に
- ・ど真ん中 携帯持って 矢取り行く
- ・引いた矢が 自動で戻る はずはない
- ・初めての 子供の中りに 目が潤む
- ・弓持てば バレてしまうわ 経験者
- ・寒稽古 苦しむほどに 春爛漫
- ・師匠とは 弟子ほど自由に 休めなく
- ・慣れるほど 忘れてしまう 礼儀かな
- ・礼記射義 最後の一行 忘れまじ

### 【試合にて】

- ・お披露目で 四段返せと 咎められ
- ・大前で 先生近い 黙ってて
- ・偉そうに 教えて試合で 弟子に負け

私が 16 年もの長きにわたり弓を続けられてきたのは、ひとえに所沢で弓を引つづけられているからと思っております。ご指導、ご支援いただいている先生方、弓友をはじめ所弓連の方々は言うに及ばず、スポ少の子供たちやそのご家族、かつて所沢で弓に携われた方々などの様々な思いなくばここまで来ることはありませんでした。そして道場があること（むろんそれを維持していただいている方々）も。

本寄稿の末筆にこれらすべての方々に感謝の意を表します。

「弓という縁でつながる 有り難さ」

## 審査とは!

関口研二

この度、2月17日の明治神宮連合審査において五段認許いただきました。ご指導いただいた諸先生方に深く感謝致します。本当にありがとうございました。今も信じられない気持ちでいっぱいなのですが五段認許いただいた以上はその責任をしっかりと自覚し日々精進努力したいと思っております。さて、審査とはいったい何なのでしょう！

練習の成果の確認、上の段位が欲しい、指導していただいている先生への感謝！

その他色々あると思います。私は審査に苦しみました。受けても受けても中らず触らず、悔しくて悔しくてある審査から帰った夜は「チクショー」と寝言で叫んだそうです。でも受け続ける。審査の失敗も数知れず、恥ずかしい思いをいっぱいしました。でも受ける。何なのでしょう！審査は私の生活の一部になっていました。

このように思っては申し訳ないのですが四段を受かった後、嬉しい思いの反面、もう四段を受けられないのかと寂しいとさへ思ってしまった。

五段合格は、先生のご指導！練習への取り組み、弓の神様からのご褒美だと思っております。

これからは今後審査を受ける方々のお役に立ちたい！何か私に出来る事があったら是非協力したいと思っております。

おこがましいのですが、後輩の方々へのアドバイスとして、審査は決して怖いものではありません。準備をしっかりと前日はいつもと同じように過ごし、待ち時間が長い事が想定されるのでグッツを用意したり、充実した一日を過ごしましょう。

もし、不合格だった場合は必ず不合格の理由があるはず。失敗は必ず次に活きます。次の審査に活かしましょう。私もさらなる審査に挑戦していきます。審査にマグレ合格はありません。合格は実力です。と私は信じています。

お互い頑張りましょう。審査を受けられる喜びをまた感じたいと思います。

最後に、当日袴を忘れないようにしましょう。

## 審査の時のキャディさん

(注：ゴルファーの私の場合)

### 安立 倫生

4/28 山梨 小瀬の関東連合審査にて五段の認許を頂きました。みなさん、ありがとうございます。

今日は、最近の私の審査の受け方を書いてみます。これからの受審される方の何か参考になるかも、かも、しれません。

審査の待ち時間は、何とも言えない緊張や不安に襲われます。ビビりな私も、当初はそれなりに悩みましたが、最近は、慣れてきました。と同時に、本番での自分の審査の受け方ができてきました。

それも、頭の中にキャディさんが登場して。キャディさんて、ゴルフのキャディさんです。

今回も、控えの待ち時間や、入場から立つまでの時間を、頭に出てくるキャディさんと会話しました。すると、楽しくいつもと同じようにリラックスして自分の射ができました。

たとえば、今回の山梨の場合は、こうです。肌脱ぎの最中に、途中で前の女性が弓を膝から落としてしまったのですが、

・キャディさん：「少し待ってあげようよ。緊張しているみたいだし」

・私： 「俺も緊張してるんですけど」  
(笑)

・キャディさん：「的も大きく見えるし、いいんじゃないの今日！」

・私： 「そうそう、いけるいける！  
ピューッと 引くよ」

なーんて言いながら、お互いに頭の中で楽しく笑ってました。こんなキャディさんとの会話で、平常心を保つのです。

今回は、三的でしたので、大前の弦音で立ちあがります。キャディさんの登場は一旦ここまで。

「カン！（弦音）」と大前の弦音が鳴ったら、体のスイッチが入り、立ち上がります。もう何も聞こえませんが、息合いのみに集中しています。

立ち上がり、構えて引くだけ。聞こえるのは、自分の呼吸音だけ。自分の体の中の音を感じて引くだけです。

全身での的を狙い、ただ引き分けて開きました。的中音「パン！」と同時にまた、キャディさんが登場。

・キャディさん：「ぼちぼちだね、乙矢を置きに  
いったらだめだよ。ビビりなんだから」

・私： 「はいはい。大丈夫っすよ。  
攻めますよ！」

こんな会話をしながら、ゆったりと待ちました。そして、大前の乙矢の弦音と同時に立ち始めます。また、何も聞こえませんが、ただ、自分の体の音に集中しています。

「カン！（弦音）」という自分の弦音と共に、乙矢が的の中心と重なりながら、飛んでました。「パン！」的中音で、束ったことが分かりました。なんか、矢が真ん中あたりに入っています。

こんな感じで、控えにいる時間や、入場して自分の番が来るまで、キャディさんと会話して、自分の緊張具合や体の力み、前後の射手や射場の雰囲気、的までの距離や大きさ（見え方）、空気感とかを感じます。状況を確認して、自分を落ちつかせる、リラックスさせる方法です。

あとは、弦音をスイッチに、自分の体の音（呼吸）だけに集中して、頭の中に雑念が入らないようにする。いかに頭の中を空っぽにするか。的にとらわれずに、自分の体の中の音を聞くか。それのみ行っています。

それがなんとなくでき始めてから、審査の場の雰囲気にも慣れて、思ったような射が出せるようになりました。

結果は、審査員の先生方が決めることなので、時と場合によりますが、今回は、おかげ様で、◎（合格！）を頂きました。

こんな、キャディさんとの会話を楽しみながら、自分を落ち着かせています。



良かったら参考にしてみてください。自分を客観視できるひとつの方法かなと思います。

ちなみに、乙矢の的中音と同時にキャディさんが「ナイスショット!」と言っていたような(笑)。

今度は、このキャディさんに名前をつけてあげようと思いまーす。

今後も、楽しく引かせていただきますので、よろしくお願ひ致します。

3月24日

部長会

埼玉連西部支部評議員会

4月13日

常任委員会・NPO法人理事会

4月28日

NPO法人第5回通常総会

## ∞ 投稿 (2) ∞

### ∞ 会長月誌 (抄) ∞

平成30年

11月11日

青少年三道大会総合開会式

11月16日

武道館防寒スクリーン打ち合わせ

・10的、12的に対応するよう依頼

平成31年3月完成

11月19日

シティーマラソン大会実行委員会(最終確認)

・予算案の承認

・各部会の状況報告

12月02日

シティマラソン大会本部プレゼンター要員

12月15日

武道館利用者調整会議(石川競技部長と)

・武道祭:平成30年は開催しない

・来年度の武道祭は実施時期を2月から5月頃に変更する

12月20日

青少年三道大会反省会(石川競技部長と)

平成31年2月15日

青少年育成所沢市民会議スポーツ部会

・部会長・副部会長の選出

3月02日

所沢市スポーツ大賞、体育協会賞表彰式

3月02日

埼玉連西部支部理事会

・30事業報告と決算

・31事業計画と予算

### 四段審査に臨んで

杉山 博文

平成31年2月24日の上尾の審査におきまして、四段の認許を頂きました。

日頃より丁寧にご指導下さった先生方、温かく見守り励まして下さった諸先輩、そして共に学び励まし合っている弓友の皆様、心より感謝申し上げます。

平成28年5月日高の審査で三段の認証を頂き、今回で四段審査の受審は10度目でした。

合格するまで20射10中の羽分け、内訳は片矢が4回、皆中が3回、如何に射型が悪かったか物語っています。中っても振込み、前離れ、弓手のぶれ、突っ込みなど不正の展示場でした。

先生から、「悪い射形で中ってしまうと、脳はこれを気持ちよと感じ、悪い射形を記憶してしまう。」と言われました。これを忘れさせるには、中らなくても正しい射形で行っていくことと指導されました。練習していると「なぜ、そうするのか」と質問され、私がそれに答えられずいますと、「なぜ、そうするかが理解できると、体の個々の部分の動きも変わり自然と中る。」とのことでした。それから1年程経過し、今回の審査の前々日に先輩から「足踏みから縦線がきちっとしている時は、弓手のブレがなく勝手引き、勝手離れも起こらない。」と言われました。審査においては、「縦横十文字」の基本に気をつけて射を行うこと。また、出来るならば学科の問題が変更になる前に合格したいと審査に臨みました。

当日は、いつも通り学科は終わり、午後2時過ぎから実射がはじまりました。審査では色々なことが起こります。前々回は前の方が甲矢を外し、乙矢で弦切れし失の処理もたついていて退場を早くするように言われ、前回は前の方が同じように甲矢を外し、乙矢をこぼし、失の処理をもたついて早く退場する様に言われていました。共に後ろにいた私は、処理が終わるまで動作を止めていましたが、こちらまで動揺してまともに射が出来ずおわりました。今回も入場で、本座につくまでに大前が止まり、後ろの4人は同じように止まったままでした。主任審査員から本座に進むよう言われることがありました。何故か「きちっと射をすること。」だと開き直りに近い心境でしたので射は冷静に行ったと思います。我々の組の射を見ておられた方が「射場でなにが起こったかわからなかった。」また、「皆、大前の方を何回も見ていた。」と言われました。皆中も結果発表があるまでドキドキでしたが幸いにも「合格」でした。

まだまだ未熟で至らぬことばかりですが、少しでも向上できるよう修練していく所存でございます。今後共、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

### 「平成最後の弓道審査」

今井千鶴

2月の上尾審査にて、参段に合格することができました。合格の印を見た瞬間、「諦めなくて良かった」とボロボロ涙が出ました。

私の参段審査はとても大変でした。何回か落ち、毎回の審査で「これだけはできるように頑張る」と目標を1つ決め挑むようになりました。それを毎回クリアし、少しずつレベルを上げていきました。

審査は、何故かほぼ大前でした。道場での坐射で、大前に普段から入るようにしました。合格する3回前の審査ぐらいから入場がうまく出来始め、ぴたっと皆が揃った時は、「よし、うまく出来た」と冷静になる事ができました。

今回の上尾も、もちろん大前でした。「もう位置だから仕方がない。やるしかない。」と審査に挑みました。入場も上手く行き、「よし、いつも通りできた。」と冷静になれました。甲矢は的の12時真上に外れてしまいましたが、「いつもの大前、12時上、これはいつもの位置。大丈夫、次は入る。冷静に。」と暗示をかけました。そして、乙矢で不思議な感覚に包まれました。

そこは、所沢の道場でした。いつもの大前で、右横には先生方が座っていて見守ってくれている。そんな感覚でした。取り懸け時、頭の中に先生の声が聞こえ始め、先生の声の通り丁寧に一つ一つポイント確認しながら引いていきました。

「大丈夫、できている。このまま迷わず大きく開く。」パーンと良い音が聞こえてきました。

いつもの練習通りの射が出来た初めての審査でした。いつも通りに引く事がどれだけ大変か痛感した参段審査でした。「とにかく丁寧に。冷静にポイント確認。」そうする事で、少し冷静になれる自分を見つける事ができた審査でもありました。

先生方には、何度も同じ事を言わせてしまい申し訳ありません。また、時間はかかりますが、諦めずに頑張りますので、今後も宜しくお願い致します。

### 初段合格

池田大介

昨年5月の初心者講習の門を叩いてから、早くも1年が経ちました。全く弓を触ったことがなく、かつ覚えの悪い私をいつも優しくご指導いただき下さる、先生方、諸諸先輩にこの場を借りてお礼を申し上げます。いつもありがとうございます。今回初段に合格できようやくスタートラインに立てたかなと、感じております。

審査は2立目の2番。入場口に並ぶと場の雰囲気にもまれ、想定した以上に緊張してしまいました。大前に続き入場。失や掃き矢など心配で頭が一杯に。前日の土曜講習で草賀先生に「大きく引いて、大きく離す」と言われていたにも関わらず、失を恐れて小さく引いてしまいました。

結果、的に僅かに届かず掃き矢に。初段は的中は不問だが掃き矢はだめだと聞いていたので、その瞬間に「あー、落ちた」と思いました。

乙矢は気持ちを切り替えて、大きく引き、会もしっかりと保つことができたまで届くことができました。その後の学科は、直前まで教本を読み込んで、最低限のことは書くことができました。

甲矢が掃き矢で半ば落ちたと思っていたので、合と書かれていた掲示を見たときは声を上げて喜んでしまいました。

まだまだ未熟者で教わることばかりですが、教わったことはしっかりと身につけ少しずつ前進できればと思っています。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 初段審査に合格して

山下 翔司

弓道復帰から1年、無事段位を頂くことができました。小生意気な若造に、根気よく指導して頂いた先生方のおかげです。本当に、ありがとうございました。

思い返すと大学で始めた弓道ですが、段位は重視されなかったため、的中での練習ばかりしていたように思います。(それでも大して的中があるわけでもありませんでしたが・・・)

今回初めて真面目に昇段審査を受けたことになりますね。

審査当日、GW中にもらった風邪が悪化し、まさかの朝から微熱、さらに審査では、本座、射位、立ち位置の札が全て用意されていないというトラブルがありましたが、大前の方が落ち着いて行射を行ってくれたこともあり、体が覚えている動作で何とか凌ぐ事ができました。

緊張であまり内容を思い出すことができませんが、運よく甲矢が的に入り、少し精神的に楽になり、乙矢は9時に抜けましたが、退場まで大きなミスなく進めることができたと思います。

学科は、学生時代に予備知識なしで無指定で臨んだ結果、文字数が足りず落とされたことも

あり苦手でしたが、今回はしっかり対策したおかげで何とか合格点を頂けたようです。

学生から数えて弓道歴6年目でやっと初段、これでやっと、弓道の入り口に立つことができました。

課題も盛りだくさんで、引けば引くほど疑問が湧いてきます。今は一つ一つ試行錯誤して、身に付けていくのが面白いです。

次は弐段、これからも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 令和の初段審査

松澤充宏

新たに年号が令和になって初めての初段審査を新鮮な気持ちで臨めました。また前日の月例射会で入賞できたことも良い励みになりました。そして無事に合格できたことを大変嬉しく思います。約30年前、高校弓道部に3年間在籍して合格することが出来なかったのが喜びも一入です。

ご指導いただきました諸先生と諸先輩に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも頑張って稽古に励みますので宜しくお願いいたします。

## ∞ 編集後記 ∞

令和に入って初めての所弓便をお届け致します。  
今号から編集委員に新メンバーが加わりましたが、  
今後とも会員皆様のご協力を得ながら、ともども  
所弓連の活動の状況を伝えて行きたいと思えます  
ので、よろしくお願い致します。 飯島稔凱

今回、所弓便編集担当にご指名頂いた瀬賀です。  
以前、弓道誌の制作担当だったこともあって巡っ  
て来た担当だとは思いますが、わからないことば  
かりですが、飯島先生、担当の沖田さん、北澤  
さん、皆様のお力でお役に立てられたら、幸いで  
す。よろしくお願いいたします。 瀬賀邦夫

この度所弓便の編集委員のお役を頂きました。  
至らぬことばかりかと思えますが、飯島先生をは  
じめ編集委員の方々、会員の皆様方のご指導の元、  
微力ながらお役に立てればと思っております。  
どうぞ宜しくお願い致します。 沖田純子

この度、所弓便編集委員となりました北澤明子  
です。昨年4月から所弓連にお世話になっており  
ます。まだまだ、皆様のお顔とお名前とが把握出  
来ておらず、ご迷惑をお掛けしてしまいますが、  
先生方のご指導の下、尽力に努めますのでどうぞ  
宜しくお願い致します。 北澤明子

## 所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第23号

編 集 委 員 飯島稔凱 瀬賀邦夫  
沖田純子 北澤明子

発 行 日 令和元年5月31日  
発 行 者 NPO 法人所沢市弓道連盟  
会長 石川淳子